

福島空港脱炭素化推進計画（概要）

【 基本的な事項 】

1 基本方針

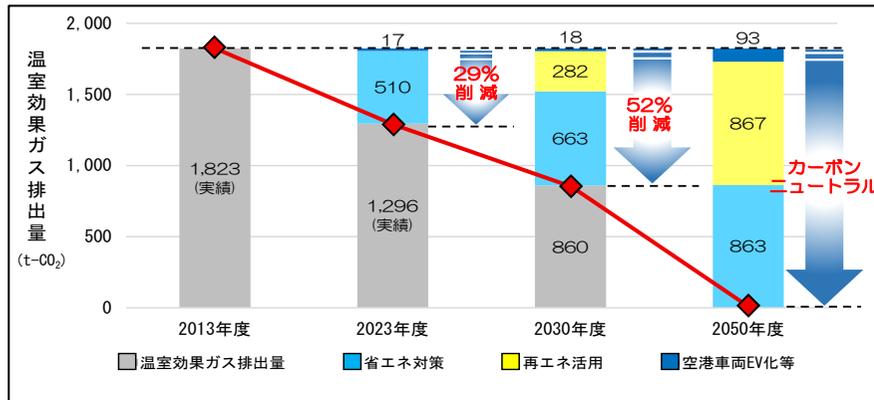
空港関係機関が連携して、省エネルギー対策の推進、再生可能エネルギーの導入・活用、空港車両の電動化等の取り組みを進め、福島空港の脱炭素化を推進する。

2 現況（温室効果ガス 排出量）

区分	基準年(2013年度)	現況(2023年度)	削減率
空港施設	1,741 t	1,231 t	29%
空港車両	82 t	65 t	21%
計	1,823 t	1,296 t	29%

3 目標（温室効果ガス 削減目標）

2030年度	基準年（2013年度）に対し52%削減
2050年度	カーボンニュートラル



4 検討・実施体制及び進捗管理

- 空港関係機関で構成する脱炭素化推進協議会において、本計画の推進を図るとともに、取組の進捗状況を確認する。
- 本計画の進捗状況や脱炭素化に資する技術の進展等を踏まえ、適時適切に本計画の見直しを行う。

【 主要な施策 】

1 脱炭素化を推進する区域



【凡例】

- 脱炭素化推進区域
- 空港施設の取組区域
- 航空灯火の取組区域
- 再生エネの取組区域
- 空港車両の取組区域

2 継続・中期的に取り組む施策

- 省エネ**
 - 空港施設：省エネ推進、照明設備 LED 化
 - 航空灯火：航空灯火 LED 化
- 再生エネ：再生可能エネルギー由来電力の活用
- 空港車両：EV車両導入、EV充電施設の導入

3 長期的な観点で取り組む施策

- 省エネ**
 - 空港施設：省エネ推進、照明設備 LED 化、設備・施設の省エネ化
 - 航空灯火：航空灯火 LED 化
- 再生エネ：再生可能エネルギー由来電力の活用
再生可能エネルギー施設の検討・整備・運用
- 空港車両：EV車両導入、EV充電設備の導入

4 その他の施策

- 工事、維持管理等の空港業務における脱炭素化推進
- 空港アクセスにおける脱炭素化促進
- 意識醸成・理解促進